

# ◎ 会員だより

4月号の「特集（県土木OBによる市町村への支援体制構築）」について 熊本県退職者建設技術協会のアドバイザー支援制度は、退職後、経験を活かして社会貢献ができる点が素晴らしいと思います。このような取組みを全県で展開していくことが必要で、私自身も関わっていききたいと思います。 横山 彰宏（都道府県勤務、56）

3月号の「表紙」の津波伝承館での消防車両の被災写真を見て、改めて震災の恐ろしさがわかりました。消防団に携わっている身としても身が引き締まる思いです。3月号の「特集（災害に強い安全な国土づくり～復旧・復興～）」は災害について考えるいい機会になりました。 匿名希望

3月号の「特集（災害に強い安全な国土づくり～復旧・復興～）」は様々な分野、地域における災害復旧の取組みを知ることができ、自分の組織だけでは知ることのできない情報や知識を得られ、今後の災害対応等での参考となりました。 匿名希望

3月号の「寄稿（発注関係事務の運用に関する指針（運用指針）改正の概要）」では、今回対象となった公共工事に関する測量、調査及び設計に関する改正のポイントなどが、わかりやすくまとめられており役に立ちました。 匿名希望（都道府県勤務、45）

4月号の「パネルディスカッション（新しい時代における公務員技術者の使命）」では、先輩職員も地元の方からの苦情対応に苦労されたとのことですが、経験談を通じて、会って話すことの大切さを痛感しました。パネルディスカッションのように職員の生の声を聞ける特集は非常に興味深く、参考になりました。 匿名希望（都道府県勤務、29）

4月号の「特集」である「技術の伝承・技術力の向上」は、兼ねてからの課題です。今後、新しい技術などを学ぶとともに公務員技術者として必要な技術力とは何かを各機関で考えていく必要があると思います。 匿名希望（都道府県勤務、45）

地方自治体職員で係長をしています。若手の後輩職員は、内業が忙しすぎて現場技術を学べていないと思います。今後、きちんと教える先輩職員が少なくなると思うので心配です。4月号の「特集（技術の伝承・技術力の向上）」で掲載されている取組みを参考にしていきたいと思います。 匿名希望（都道府県勤務、41）

4月号の「特集（技術の伝承・技術力の向上）」で若手職員の技術力向上の取組みなどを拝読しました。鉄筋の組立てや溶接の実技体験などは、記憶に残り、実際の現場立合いなどの着眼点を変えることができる画期的な取組みだと思います。 匿名希望（市町村勤務、33）

4月号の「特集（東北土木技術人材育成協議会の活動）」について、官民が連携した若手技術者の育成は本市にはない取組みで羨ましいです。若い技術者のやる気を引き出すことができると思います。 匿名希望（市町村勤務）

大石会長の「上徳不徳（東西ドイツの思い出）」を拝読しました。ドイツでは、上下2車線ずつの橋梁を床板の打ち換えをしながらでも、2車線の橋梁を4車線使いができるように橋梁幅を設計したことに比べ、日本は建設時の効率を優先させ、長い目で見た場合に非効率となっているという点が印象に残りました。 匿名希望

4月号の「技術資格試験合格体験記」や、「特集（直轄技術力の向上にむけた取組み（みなとの匠3G運動）」などを読んで、技術者として自分も新たに資格の取得などに取り組んでみたいと思いました。 匿名希望（市町村勤務）

3月号からの新コーナーの「建設技術者のためのこの一冊」では、二か月連続で建設関係の本が紹介されていますが、他分野の本で参考になる本の紹介も期待しています。 匿名希望（都道府県勤務、52）

毎回、「会計検査の指摘事例」を設計積算の教本にしています。こんな指摘もあるのだなあと身震いしながら読んでいます。 匿名希望（都道府県勤務、43）

自分自身の技術力向上のために月刊「建設」を熟読しています。自己研鑽のモチベーションをあげるのに役立っています。 匿名希望（都道府県勤務）

誌面が一部カラーになってから久しいですが、ずいぶん読み易くなったと思います。執筆者の紹介が官職だけでなく、略歴など業務の内容がより詳しいと、報告や論文の理解が進むのではないかと考えます。 松井 一男（元地方整備局勤務、62）

新型コロナウイルスの影響で在宅勤務が多くなっています。テレワークの環境が整っていないため、不便で効率が悪く、業務に遅れが生じています。これを機にテレワークの環境が整うことを切に願います。 匿名希望（都道府県勤務、46）

「第662回建設技術講習会（鹿児島市）」の現場研修で鹿児島東西幹線道路建設事業を見学しました。計画や課題、事業進捗などの説明があり、よく理解できました。車中からもポイントごとに説明していただいたのが良かったです。 匿名希望

「第662回建設技術講習会（鹿児島市）」の現場研修で街路事業新町線事業を見学しました。様々な工夫をしながら、周辺の建物が近接し既存の交通を維持したまま施工している工事を見ることができて参考になりました。 匿名希望

## ◎ 「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋  
TEL：03-3585-4546/E-mail:kensetsu@zenken.com

